

令和5年度 第5回西宮市民ファミリーハイキング事業報告

奥アンツーカ株式会社

【実施日時】 令和5年10月21日（土） 9：30～14：30

【実施概要・コース】

西宮市内とその近郊を中心に自然や歴史に触れながら、ハイキングを楽しむことで健康づくりをめざす西宮市民ファミリーハイキング。10月は、秋風がさわやかな時期に武庫川河川敷を歩くとともに、国登録有形文化財である旧甲子園ホテルを特別に1時間かけて説明を聞きながら見学するコースでハイキングを実施しました。かつては「東の帝国ホテル、西の甲子園ホテル」と並び称され、阪神間における高級社交場としても賑わった日本に残る数少ないライト式建築の魅力を堪能しました。

見学後、〈中上級〉コース参加者は、西宮河川敷にあるコスモス園を通りたっぴり武庫川河川敷を歩いた後、おはぎ・和菓子で有名なサザエ食品で休憩を取り、さらに、関西学院大学の学食へ向かい昼食。最後に、関西学院大学博物館を見学しました。(7.7km)

〈中級〉コース参加者は、西宮河川敷のコスモス園付近で昼食をとり、中上級と同じく武庫川河川敷を歩いた後、サザエ食品で休憩、阪急甲東園駅で解散しました。(6.0km)

この日は、旧甲子園ホテルの見学定員が20名に制限されているため、参加者は〈中上級〉20名、〈中級〉17名の合計37名でしたが、全員が無事完歩し帰路につくことができました。

〈本日のコース〉

〈中上級〉	ファミリーハイキングの行程
9:30～9:35頃 9:45～10:45頃 11:05～11:10頃 11:55～12:15頃 12:35頃 13:00頃～13:45頃 13:50頃～14:30頃	JR甲子園口で説明・諸注意後、出発。 【見どころ1】旧甲子園ホテル(0.6km)で説明を聞きながら館内見学 WC 【見どころ2】コスモス園(2.0km) サザエ食品(4.9km)で休憩・買物 WC ※買い物が終わった方は、すぐ近くの上大市公園で休憩 甲東園駅(6.0km) 関学学食BIG MAMAに直行(7.6km・昼食) WC 【見どころ3】関学博物館見学後自由解散(見学前、アンケート回収・完歩シール配布)

〈中級〉	ファミリーハイキングの行程
11:00～11:05頃 11:15～12:15頃 12:40～13:25頃 14:10～14:30頃 14:50頃	JR甲子園口で説明・諸注意後、出発。 【見どころ1】旧甲子園ホテル(0.6km)で説明を聞きながら館内見学 WC 【見どころ2】コスモス園(2.0km) ※注 付近には簡易トイレしかありません サザエ食品(4.9km)で休憩・買物 WC すぐ近くの上大市公園でアンケート回収・完歩シール配布 甲東園駅(6.0km) 解散

① JR 甲子園口駅前集合

諸注意後に出発、旧甲子園ホテルに向かいました。ホテル前で、まず見学時のルールについてお聞きしました。



② 旧甲子園ホテル見学

武庫川女子大学の先生のご案内で、国の近代化産業遺産および登録有形文化財に登録されている旧甲子園ホテルの館内を見学しました。中は息をのむようなすばらしさで、参加者のみなさんの足が各所で止まりました。

見どころ1 旧甲子園ホテル

甲子園会館は、昭和5年（1930年）に甲子園ホテルとして竣工し、その後海軍病院・米軍の将校宿舎を経て、昭和40年（1965年）、武庫川学院が譲り受け教育施設として再生しました。平成18年（2006年）4月からは新設された武庫川女子大学 生活環境学部建築学科、及び大学院生活環境学研究科建築学専攻のキャンパスになっているこの建物は、かつては「東の帝国ホテル（明治村で建物の一部を保存）、西の甲子園ホテル」と並び称され、阪神間における高級社交場としても賑わいました。この甲子園会館（旧甲子園ホテル）は日本に残る数少ないライト式の建築であり、国の近代化産業遺産および登録有形文化財に登録されています。

帝国ホテルの常務取締役でホテル界の第一人者といわれた林愛作（1873～1951）の理想にもとづき、フランク・ロイド・ライト（米・1867～1959）の愛弟子・遠藤新（1889～1951）が設計しました。

中央に玄関・フロント・メインロビーを置き、左右に大きくメインダイニングとバンケットルームを張り出し、その両翼の上階に、集約された客室群を階段状に配した構成となっています。

「打出の小槌」を主題にしたオーナメントや緑釉瓦、西ホールの天井に見られる市松格子など、日本の伝統美が随所に取り入れられ、壮麗な洋風建築の空間と巧みに調和しています。

（参考 武庫川女子大学 HP「甲子園会館（旧甲子園ホテル）」 <https://www.mukogawa-u.ac.jp/kkcampus/indexhtml> より）



③ コスモス園

旧甲子園ホテル見学後は、コスモス園に向かいました。ただ、今年は夏は猛暑、秋も残暑が厳しく、開花しているコスモスはまだまだ多くはありませんでした。

<中級>コースは、ここで昼食休憩となりました。



見どころ2 武庫川コスモス園

武庫川河川敷緑地は延長 9km、開設面積は 31.ha あり、全長 8.4km のジョギングコース、7.1km のサイクリングロードなどで思い思いに楽しめます。

春には菜の花、秋にはコスモスのお花畑がきれいです。

(参考：にしのみや観光協会 HP

<https://spot.nishinomiya-kanko.jp/spot/2012/03/28/629/>)



④ 武庫川河川敷からサザエ食品へ

コスモス園からしばらく武庫川河川敷を歩きました。意外にも大木もあり、緑の中をサザエ食品に向かいました。

しばし、おはぎなどの甘いものを買って休憩です。



⑤ <中上級>は関西学院大学へ <中級>は甲東園駅へ

<中上級>コースは、さらに関西学院大学へ向かい、学食で昼食後、関西学院大学博物館を見学しました。<中級>コースは、甲東園駅に向かい解散となりました。

見どころ3 関西学院大学博物館

関西学院大学の時計台は、かつて図書館として学生たちに親しまれていましたが、創立125周年を記念して2014年9月28日（創立記念日）に大学博物館として開館しました。関西学院の歴史を踏まえた展示とともに、企画展を通して、関西学院大学の研究や教育の成果などさまざまな情報を発信しています。

この時計台は、1929年、神戸市灘区の前田の森キャンパスからの移転に際して図書館として建てられました。W.M.ヴォーリズによるキャンパス構想の基点として大学全体を一望できる中心的存在に位置づけられています。建築様式はスパニッシュ・ミッション・スタイルを基調とし、各所には美しい意匠が施されています。時計台塔上部にはモザイクタイルの小ドームを据え、頂きに学院のシンボルマークの新月を冠したクロス、さらに建物に入ると1階ロビーには愛らしい模様のタイルが敷き詰められています。正面の階段を上ると吹き抜けの空間があらわれ、2階展示室（旧図書館閲覧室）には白塗りの高く美しい天井が広がっています。ぜひ建物の細部にも着目してください。

(参考：関西学院大学博物館HP <https://tabi-mag.jp/ky0016/>)



令和5年度 第5回ハイキング(旧甲子園ホテル・武庫川河川敷など)の行程図 (地理院地図より)

